

介護報酬、コロナで上乗せ 波紋

7/27
朝日

厚労省が特例 利用者の負担増

新型コロナウイルス対策の
介護報酬特例

要介護3でデイサービスを月12回(1回5~6時間)利用した場合

介護報酬	自己負担(1割負担)
通常 1回7650円	765円
↓ サービス時間を実際より長く算定	↓ 負担増
特例 1回8870円(月4回まで)	887円

月利用額が限度額(27万480円)を超えると、超えた分は10割負担

特例は、新型コロナの感染症対策をするデイサービスなどの事業者が利用者の同意を得たうえで、実際に長い時間、サービスを提供したと算定して介護報酬を上乗せできる。厚労省が6月1日に都道府県などに通知した。

たとえば要介護3の利用者が「5~6時間」のデイサービスを受けた場合、事業者は1日2時間上乗せしを特例として扱え、月の介護報酬を算定できる。

同様に、事業者が利用者の同意を得たうえで、実際に長い時間、サービスを提供したと算定して介護報酬を上乗せできる。厚労省が6月1日に都道府県などに通知した。

新型コロナウイルスの感染防止に取り組む介護事業者に対し、厚生労働省が介護報酬の上乗せを認める特例措置を始めたことが波紋を呼んでいる。同意を得られた利用者によるだんより多く介護利用料を払つてもいい仕組みだが、現場からはコロナ対策の負担を利用者に求めることへの疑問の声が出ている。

特例は、新型コロナの感染症対策をするデイサービスなどの事業者が利用者の同意を得たうえで、実際に長い時間、サービスを提供したと算定して介護報酬を上乗せできる。厚労省が6月1日に都道府県などに通知した。

一方で、「母を介護する東京都内の団体職員の女性(61)は「利用者の立場では同意せざるをえない」と感じた。近くて一人暮らしをする

母(85)は認知症で、日中はデイサービスに通う。「すでに介護保険料も利用料も払っているのに負担が増えじる」。

一方で、「母を介護する東京都内の団体職員の女性(61)は「利用者の立場では同意せざるをえない」と感じた。近くて一人暮らしをする母(85)は認知症で、日中はデイサービスに通う。「すでに介護保険料も利用料も払っているのに負担が増えじる」。

一方で、「母を介護する東京都内の団体職員の女性(61)は「利用者の立場では同意せざるをえない」と感じた。近くて一人暮らしをする母(85)は認知症で、日中はデイサービスに通う。「すでに介護保険料も利用料も払っているのに負担が増えじる」。

一方で、「母を介護する東京都内の団体職員の女性(61)は「利用者の立場では同意せざるをえない」と感じた。近くて一人暮らしをする母(85)は認知症で、日中はデイサービスに通う。「すでに介護保険料も利用料も払っているのに負担が増えじる」。

制度搖らぐ恐れ・同意するしか

人「認知症の人と家族の会」には、「利用者や家族は事業所の大変さを理解し、利用時間を減らして協力している上に、さらに利用料の負担増まで強いられ

事態に対し、利用者負担を

人「認知症の人と家族の会」には、「利用者や家族は事業所の大変さを理解し、利用時間を減らして協力している上に、さらに利用料の負担増まで強いられ

事態に対し、利用者負担を

る「おわしい」などの相談が寄せられている。

信頼関係や介護保険制度を

代表理事の鈴木森夫さん

は「事業所の責任でも、利

用者・家族の責任でもない

力している上に、さらに利

用料の負担増まで強いられ

る「おわしい」などの相談が寄せられている。